



「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉があります。ついこの前、新年を迎えたと思っていたら、もう2月になりました。「1月は行く」を実感します。

一方で、立春が過ぎ、暦の上では春となりましたが、途端に大寒波に見舞われ、春の訪れはまだまだ感じられません。残りの30日を元気にケガなく過ごせるよう、体調管理のほど、よろしくお願いいたします。



## ～第5回ふるさと発見！四万十の子ども研究発表会～

四万十市では、教育振興基本計画の基本理念に「ふるさとを愛し、夢と志をもって 未来を切り拓く人材（ひと）の創造」を掲げ、ふるさと教育を推進しています。その取組の一環として1月31日（金）にしまんとぴあにて「第5回ふるさと発見！四万十の子ども研究発表会」が開催されました。



本校からは、5・6年生が代表して総合的な学習の時間で取り組んだことを発表しました。テーマは「うなぎはすごいぜ!」。あまり知られないうなぎの魅力や食べ方、八束地域にある養鰻場の仕事について調べたことを発表しました。自分たちで課題を立て、インターネットで情報を収集したり、養鰻場の方に話を聞いたりしたことを整理・分析し、スライドに分かりやすくまとめていました。当日は、体調不良で2人欠席していましたが、6人で役割分担をし、力を合わせて発表することができました。

### 【発表児童の感想】

- ・練習の時はゆっくりと大きな声で言えたけど、本番は少し早く言ってしまいました。ちょっとくやしかったです。
- ・とても緊張しました。セリフが少し早口だったなと思いました。
- ・心臓がバクバク、ドキドキしていました。発表は少し早口でしたが、上手く発表できたと思います。

みんな緊張していたようですが、大きな声で、ハキハキと、落ち着いて発表できていました。その堂々とした姿は、いつもよりも大きく見えました。

会場で5・6年生の発表を聞いていた下級生からは、「地域の知らないことが知れて良かった。」「総合は楽しそう。」などという声が聞かれました。また、他の学校の発表も刺激になったようで、「すごく興味深いものばかりで、すごくおもしろかった。」という感想もありました。今回の経験を、6年生は中学校進学への自信にし、下級生は、次年度の学習に生かしてほしいと思います。



## ～心の鬼退治～



「節分」と言えば、「2月3日」と答える人が多いのではでしょうか。しかし、今年の節分は、2月2日でした。そして立春が2月3日。4年前の2021年も節分と立春が1日早かったそうですが、その前は、124年前と言いますから、とても珍しい年と言えます。

2月3日の生活朝会では、節分が2月2日になった理由や立春の意味を子どもたちに伝え、次のような話をし、自分自身を振り返ってもらいました。

みなさんは、「節分」の日に豆まきをしましたか？なぜ、豆まきをするのでしょうか…昔から季節の節目には「悪い気」が入ってくると信じられてきました。その見えない悪いものを鬼に見立て追い払うために行われるのが豆まきです。

では、どんな鬼がいるか知っていますか？鬼には5つの種類があるそうです。誰もが持っている5つの煩惱(マイナスの感情)を色に例えて名前が付けられています。

赤鬼は欲深くて何でも欲しが「欲しがり鬼」。

青鬼は人の悪口や嫌なことばかりを言う「怒りんぼ鬼」。

黄鬼は、自己中心的で自分勝手な「わがまま鬼」。

緑鬼はやる気がなく、だらだらする「なまけ鬼」。

黒鬼は人を疑ったり愚痴をこぼしたりする「人のせい鬼」。



厄介なことに、この5つの鬼は、誰の心にも棲んでいるらしく、自分には「心の鬼」はいないよと言う人にも、何かのきっかけで「心の鬼」が出てくるのだそうです。そんな時、豆まきをして効果はありません。心の中の鬼に豆をぶつけることはできないからです。「心の鬼」を追い出すのに一番良い方法は、強い気持ちをもって鬼退治をすることです。自分の中の「心の鬼」と戦えるのは自分だけです。残りの2か月間、強い心を持って1年間のまとめを行い、進学・進級に向けて頑張りましょう！

3学期は、来年度に向けて1年間のまとめを行う大切な時です。時間は逃げるように流れていきますが、一つ一つのことを大切にして、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

### 第2回あいさつ週間スタート!

今学期も「あいさつ名人」を認定する「あいさつ週間」を2月3日(月)～7日(金)の1週間で実施しています。前回の認定者は10名でした。今回は何名認定されるか楽しみです。特に、5・6年生から名人が現れることを期待しています! ご家庭でも応援してください。

～ 高知新聞「読もっか」掲載おめでとう! ～

1年: 谷田さん 2月5日文「ちんかばして水きり」